

平成20年7月の結果 (二人以上の世帯)

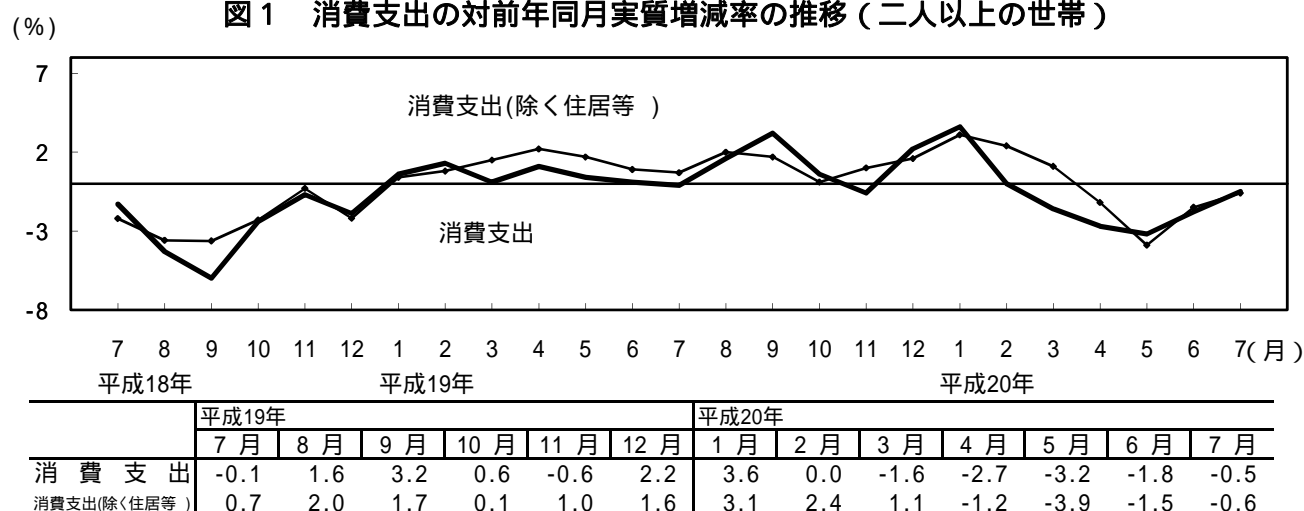
二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり 298,366 円
 前年同月比 実質 0.5%の減少 前月比(季節調整値) 実質 0.9%の増加
 消費支出(除く住居等)は、
 前年同月比 実質 0.6%の減少 前月比(季節調整値) 実質 0.3%の増加
 うち勤労者世帯の実収入は、
 前年同月比 実質 3.5%の減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

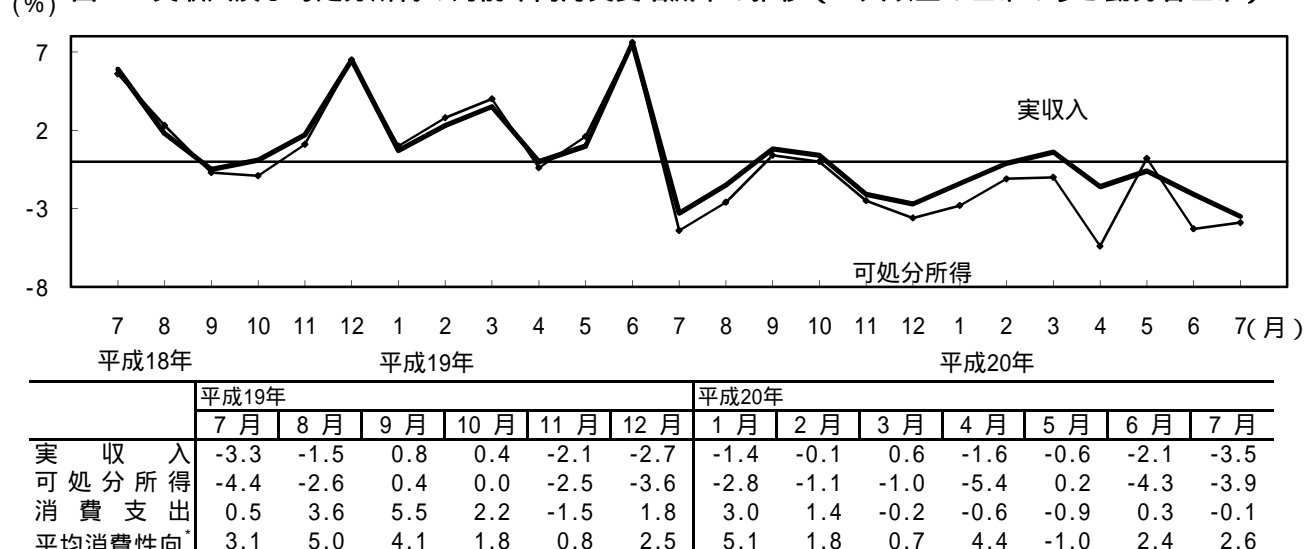
1 消費支出の推移

図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成20年7月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	298,366	2.3	-0.5	-0.5		5 か月連続の実質減少
食 料	68,150	1.0	-2.4	-0.56	<減 少> 魚介類,穀類など	5 か月連続の実質減少
住 居	19,430	9.5	9.0	0.54	<増 加> 設備修繕・維持	6 か月ぶりの実質増加
光 熱 ・ 水 道	18,618	3.0	-5.8	-0.36	<減 少> 上下水道料,ガス代など	4 か月連続の実質減少
家具・家事用品	12,700	14.1	13.6	0.52	<増 加> 家庭用耐久財,家事サービスなど	6 か月連続の実質増加
被 服 及 び 履 物	13,702	3.5	3.2	0.15	<増 加> シャツ・セーター類,下着類など	11か月ぶりの実質増加
保 健 医 療	13,124	-0.6	-0.3	-0.01	<減 少> 保健医療サービス	3 か月連続の実質減少
交 通 ・ 通 信	42,109	3.4	-1.7	-0.24	<減 少> 交通,通信	4 か月ぶりの実質減少
教 育	9,801	3.8	3.1	0.10	<増 加> 授業料等	3 か月連続の実質増加
教 養 娛 楽	31,851	3.3	3.6	0.38	<増 加> 教養娯楽サービス,教養娯楽用耐久財	2 か月連続の実質増加
その他の消費支出	68,882	-1.3	(-4.0)	(-0.95)	<減 少> 仕送り金,こづかいなど	4 か月連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

家賃地代	[-0.38]	民営家賃, 公営家賃
交際費	[-0.34]	贈与金, 住宅関係負担費
魚介類	[-0.22]	まぐろ, いわし, ぶり
交通	[-0.22]	鉄道通勤定期代, 航空運賃
通信	[-0.22]	移動電話通信料, 固定電話通信料
穀類	[-0.18]	他のパン*, 米, 食パン

< 増加項目 >

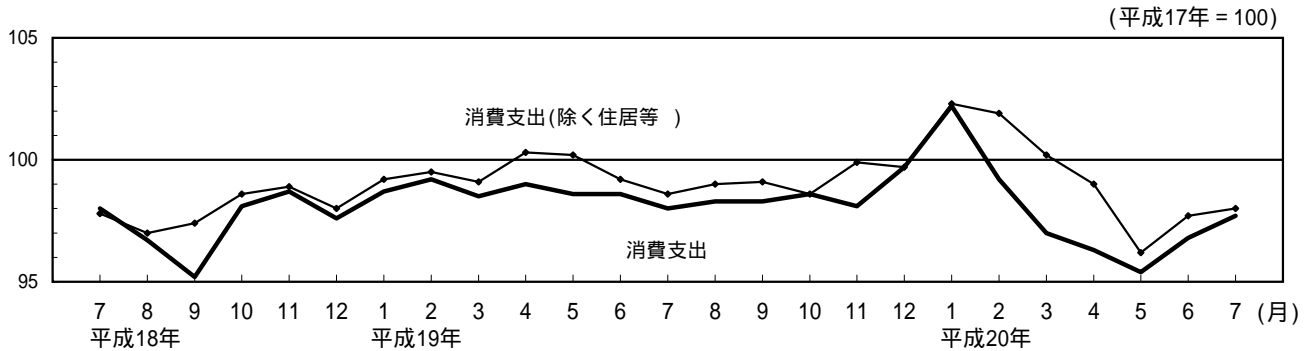
設備修繕・維持	[0.92]	外壁・塀等工事費, 給排水関係工事費
教養娯楽サービス	[0.52]	宿泊料, 自動車教習料
家庭用耐久財	[0.38]	エアコンディショナ
諸雑費	[0.34]	婚礼関係費, 葬儀関係費
自動車等関係費	[0.22]	自動車購入
授業料等	[0.20]	私立大学, 私立中学校

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

* 「他のパン」とは、「食パン」以外のパンをいう。なお、「調理パン」は穀類ではなく、調理食品に分類される。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	平成19年						平成20年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
消費支出	98.0	98.3	98.3	98.6	98.1	99.7	102.2	99.2	97.0	96.3	95.4	96.8	97.7
対前月変化率(%)	-0.6	0.3	0.0	0.3	-0.5	1.6	2.5	-2.9	-2.2	-0.7	-0.9	1.5	0.9
消費支出(除く住居等)	98.6	99.0	99.1	98.6	99.9	99.7	102.3	101.9	100.2	99.0	96.2	97.7	98.0
対前月変化率(%)	-0.6	0.4	0.1	-0.5	1.3	-0.2	2.6	-0.4	-1.7	-1.2	-2.8	1.6	0.3

注 季節調整の方法は、センサス局法(X12-ARIMAのX11デフォルト、管理限界2 ～3)を用いた。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成20年7月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	587,732	-0.8	-3.5	-3.5	4か月連続の実質減少
世 帯 主 収 入	496,253	-2.2	-4.9	-4.15	3か月連続の実質減少
定 期 収 入	357,695	0.5	-2.2	-1.33	4か月連続の実質減少
臨時収入・賞与	138,558	-8.5	-11.0	-2.82	
配 偶 者 の 収 入	67,412	11.0	8.0	0.81	2か月連続の実質増加
う ち 女 性	67,039	11.6	8.6	0.86	2か月連続の実質増加
他の世帯員収入	12,114	6.1	3.2	0.06	13か月連続の実質増加
非 消 費 支 出	103,817	1.0	-	-	2か月連続の増加
可 処 分 所 得	483,915	-1.2	-3.9	-	2か月連続の実質減少
消 費 支 出	330,483	2.7	-0.1	-	2か月ぶりの実質減少
平均消費性向(%)	68.3	(前年同月) (ポイント差)			季節調整値でみると、75.7%で、前月に比べ、0.5ポイントの上昇となった。
		65.7	2.6		